

## 流山市市民参加推進委員会の評価シート

<b>対象事業名</b>	子どもをみんなで育む計画（流山市子ども・子育て支援総合計画）の策定
<b>担当課</b>	子ども家庭課

### ① 市民参加の方法の選択について

教育、保育をはじめ子育て支援の充実を目的とする支援事業総合計画の重要性を踏まえ、「審議会」「審議会部会」「パブリックコメント」「意見交換会」「アンケート・ヒアリング調査」の複数手法を網羅し、市民の意見を反映させようとする取組み姿勢がうかがわれ、適切な選択であったと評価する。

#### ＜各委員からの意見＞

- ・本計画の流山市にとっての重要性、内容の広範囲性、多様性から多くの方法を選択、組み合わせていることは必要であり妥当と言える。
- ・タウンミーティングでは、実際子育て中の市民の参加を促すために保育ボランティアを設置したり、ワークショップ方式で実際に興味をもってもらうと努力を感じることができた。
- ・意見交換会に参加できなかった人も、パブリックコメントを利用することにより、市民参加が確実にできるという方法で、より市民の意見を多く取り入れられたのではないかと。
- ・アンケートの65%を超える回収率は、他の課のアンケート回収率には見られないため、回収努力もされたのではないかと。

### ② 市民参加の方法のスケジュールの妥当性について

子育て会議（審議会）を開催している期間中に、ワークショップ、アンケート調査を行い、最後にパブリックコメントで市民参加を求めた手順には妥当性がある。

#### ＜各委員からの意見＞

- ・パブリックコメントでの意見数、ワークショップの参加者数については対象者の数が不明のため、数値的な評価は出来ないが、スケジュール的な問題なのか、対象者へのアプローチの内容が分かりづらいものだったのか等を含め検証が必要ではないかと。
- ・審議会を11回、審議会部会を4回、その間に意見交換会を4回、アンケート・ヒアリング調査の実施、更に最終審議会の翌月にパブリックコメントなど複数手法を段階を踏みながらきめ細かなスケジュールの実施は、適切であり妥当であると高く評価する。
- ・審議会や部会、意見交換会、アンケートなどあらゆる方面で実施したのは良いと思う。しかし意見交換会が連日2日間しか行わなかったのが、子育てをしながら働いている市民にとって参加しにくい結果になったのではないかと。

### ③ 事業の内容や市民参加の仕組みに対する市民等への情報提供について

審議会の開催情報の開示、保育園や幼稚園を通して保護者宛に事業内容の資料やアンケートの実施、ワークショップ開催等の情報提供やその他手法の相乗効果を図る工夫がみられた。

#### ＜各委員からの意見＞

- ・アンケートも含めた情報提供の方法は十分と思われる。
- ・アンケート・ヒアリング調査やワークショップ開催によりテーマに関する情報提供がされ、市民参加が行われたものと評価できる。
- ・子育てをしながら働いている市民でも手軽に言える、読める、見れる、知ることができる情報提供の方法を検討されたい。（チラシ、ポスター、広報紙、色々掲載しているが、忙しく子育てをしながら働いている市民の目に留まっていないのではないかと）

### ④ 改善点について

#### ＜各委員からの意見＞

- ・本計画は流山市にとって特に大切な計画であり、直接の関係者のみならず全市民に周知すべきと思う。例えば、広報紙で特集号を組み、計画の全容を分かりやすく周知する必要があるのではないかと。
- ・4つの手法を選択して市民参加意欲を高めようとした取組みは高く評価できるが、スケジュール最後のパブリックコメントの提出数が4名の結果に残念さと疑問を感じる。複数の手法で市民参加の仕組みや情報の提供行為がパブリックコメントに反映されたとは言えず、パブリックコメントの手法に若干の疑問を感じる。市民側に原因があるのか、パブリックコメントのやり方にあるのか、今後の検討課題として要因検証の必要性を感じる。
- ・忙しい子育てをしながら働いている市民でも手軽に意見が言える取組みを検討されたい。

### ⑤ 当該事業の評価について

A	B	C	D
---	---	---	---